

第40回熱測定ワークショップ

「静的熱量測定の最前線」—静的熱量測定の基本と研究・開発への応用—

静的熱量測定法は DTA や DSC などの動的方法に比べ、装置の取り扱いが簡単ではなく結果の解析も難しいと思われがちで研究開発や品質管理に十分応用されていないのが現状です。しかし、最近の装置技術の進歩により測定は簡単になってきており、マイクロ化、高感度化や測定条件の広帯域化が進み、静的熱量測定を活用している分野では大きな成果を上げています。静的熱量測定法に対するアレルギーを取り去り、この測定手段を研究開発や品質管理に有効に活用するため、装置の基本原則および最新の装置技術を理解するとともに、最前線で活躍する研究者からいくつかの応用例を紹介します。

(世話人) 東京電機大学 小川英生, 萩原清市

主催：日本熱測定学会

協賛：日本化学会, 日本化学会コロイドおよび界面化学部会, 農業施設学会, 農業機械学会, 廃棄物学会, 日本吸着学会, 色材協会, セメント協会, 日本コンクリート工学協会, 無機マテリアル学会, 応用物理学会, 日本産業洗浄協議会 (予定, 順不同)

日時：2005年12月3日(土) 10時30分～17時30分

会場：東京電機大学神田校舎7号館, 丹羽ホール (東京都千代田区神田錦町2-2)

<プログラム>

1. 静的熱量測定の基本原理

(伝導・恒温壁・断熱・熱量計について)

東京電機大学理工学部 小川 英生

2. 最新の装置技術

(最近開発された各種装置について)

東京電機大学 / (株) 東京理工 萩原 清市

3. 界面化学への応用

(吸着熱測定による固体表面の解析および粉体の浸漬熱による親和性分散性の評価)

豊橋科学技術大学物質工学系 松本 明彦

4. 建設・窯業分野への応用

(各種材料「セメント・コンクリート」の水和反応熱測定による材料研究と品質管理)

東京工業大学大学院理工学研究科 坂井 悦郎

5. 農業・環境分野への応用

(生物系廃棄物を対象としたコンポスト化反応最適化への応用)

宇都宮大学農学部 岩淵 和則

6. 工業洗浄分野への応用

(HFE系溶媒の混合熱測定とその洗浄・乾燥技術への応用)

シャープマニファクチャリングシステム(株) 南朴木 孝至

* 講演終了後、懇親会を兼ねた意見交換会を行います。

参加費 (講演資料代, 懇親会費込)	一般	1,000 円
	学生	500 円

問合先：東京電機大学理工学部自然科学系列 小川英生

TEL 049-296-2911 (内線 3540), E-mail: ogawa@u.dendai.ac.jp

参加申込方法：件名を「熱測定 WS 参加」とし、① 氏名 (ふりがな), ② 所属団体名および部署名,

③ 連絡先 (住所, TEL, FAX, e-mail アドレス) とし, e-mail で 2005 年 11 月 24 日までに学会事務局 netsu@mbd.nifty.com までお申し込み下さい。